

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 地 図

番号	発 行 者 略 称	教 科 書 番 号
観点	東書（東京書籍）	<新しい地図帳> 301
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科・各 学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人々の社会生活の様子をとらえたり、その特色や相互の関連などについて考えたりしながら交流を図るために、冒頭に日本と世界の様々な事物を配したイラストマップを掲載したり、都道府県名をクイズなどの作業などを通じて無理なく地図の基本を学ぶ活動ができるよう工夫している。 ○ 我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえ、その意味について考えを深めるため、我が国の位置や範囲、周辺の国々と領土関係を写真などと共に分かりやすく掲載している。また、自然災害の発生の状況を示し防災マップの作製につながるなど地図帳や地球儀、統計等の基礎的資料を活用して調べる活動に工夫がある。 ○ 我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりするために、我が国の世界遺産を写真で示したり旧国名と都道府県を対照しながら示すなど、我が国の歴史と文化にかかわる地名や文化遺産などを豊富に示している。また、外国の暮らしにかかわる写真を地図と関連付けて掲載したりオリンピックやワールドカップ開催地を示すなど児童の興味関心を高め視野を広げる構成に工夫がある。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、初めて出会う地図の本として地図の仕組みを分かりやすく解説し3年生でも無理なく地図に親しみ学べるよう工夫している。また、日本の歴史年表と同時代の世界地図を比べながら我が国と世界の関係の移り変わりについて深い学びができるよう工夫している。 	
排列・分量等 内容の構成・	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地図のぼうげんに出発!」「発見!わたしたちの日本」により興味を高め、「地図帳の使い方」、「日本の地図」「世界の地図」を取り扱い、「資料・統計」を排列し、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。 ○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が8ページ、「日本の全図」が15ページ、「日本の地方図」が33ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が30ページであり、総ページ数は102ページで、前回より8%増となっている。 	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国名を英語と併記したり道徳や国語・音楽などの学習に役立つ人物や事物を豊富に掲載するなど他教科でも活用ができるよう工夫している。 ○ キャラクターの「セリフ」によって地図活用を促進する問いかけを示したり、Dマークによりデジタルコンテンツとリンクできるなど、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 判型はA4判とし、全てのページを横開きの紙面構成とするとともに、各地図の縮尺を定規で連想できる形で表示したり、索引の活用の仕方を具体例をもとに示したりするなど、使用上の便宜が図られている。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土地の高低や記号・地名など、豊富な情報を明瞭に表現するよう工夫している。 ○ 気象の資料として北見の気候が取り上げられている。また、北方領土四島も明記されている。 ○ 教科書と一体的に扱うことによって、効果が高まるように工夫されている。 	

令和2年度から使用する小学校用教科用図書の答申書

教科名 地 図

番号	発行者略称	教科書番号
	観点	帝国（帝国書院）
取扱内容 の 学習指導要領の総則及び各教科・各学年の目標・内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域の人々の社会生活の様子をとらえたりその特色や相互の関連などについて考えたりすることについて、校区や市の様子を調べ地図に表す活動を通じて、方位や記号、位置関係など地図の約束が身につくよう構成されている。また、パズルやクイズにより都道府県の位置や名称を楽しみながら学ぶ活動に特色がある。 ○ 我が国の国土や産業に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味について考えたりすることについて、わが国の領土や位置とその周りの国々をまとめた地図や固有の領土の写真等を用い、わが国の領土等を視覚的に理解できるよう構成したり、我が国の気候や産業の様子を資料図や統計資料を用い、教科書・地図と関連させながら調べ学べるなどの特徴がある。 ○ 我が国の歴史と政治及び国際社会に関する社会的事象を具体的にとらえたり、その意味をより広い視野から考えたりすることについて、都道府県名と旧国名を比較し調べる活動や歴史上の出来事や歴史遺産や歴史上の主な舞台を写真などで示し、地図と関連させながら、興味・関心をもって地図や資料を活用して調べる活動が取り入れられている。また、我が国とつながりの深い国々について、子どもの生活を視点に写真資料などを取り上げ理解を深めるなどの特色がある。 ○ 知識・技能の習得、活用、探究への対応については、「地図のやくそく」「地図帳の使い方」をふまえ「広く見わたす地図」を掲載し3年生でも無理なく地図を使って学べるなどの特色がある。また、日本の歴史年表と歴史上の出来事を結び付けて調べる活動を通じて深い学びができるなどの特色がある。 	
分量等 の 内容の構成・排列	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容の構成・排列については、「広く見わたす地図」→「都道府県を見る地図」→「世界の地図」→「資料図・統計」のように排列し、発達段階に応じて系統的・発展的に学習できるように工夫されている。 ○ 内容の分量については、「地図帳の使い方」が13ページ、「広く見わたす地図」が10ページ、「都道府県・詳しく見る地図」が49ページ、「世界の地図」が20ページ、「資料・統計」が20ページあり、総ページは120ページで、前回（86ページ）より39%増加している。判型がAB版からA4判に変更されている。 	
使用上の配慮等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国名や産物を英語で併記したり、手話での県名の標記や物語や楽曲の舞台などを掲載したりするなど他教科でも活用しやすくするなどの特色がある。 ○ 「キャラクターの問いかけ」によって地図活用の着目点を示したり、「地図マスターへの道」「二次元コード」を配置したりすることにより、児童の知的好奇心を高め主体的に学習に取り組めるようにするための手立てに特色がある。 ○ 重要な地名や記号等の標記に当たっては、字体やデザインを工夫し読み易くしたり、地図表現において地紋を取り入れたりするなど、児童が容易に読み取れるよう配慮している。 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土地の高低や記号・地名などが明るく鮮明に表現されている。 ○ 判型はA4判となり情報が読み取りやすくなっている。また、地図の用途に応じて縮尺を統一したり索引を色別にするなど使いやすさに特色がみられる。 ○ 北海道全図に北方領土四島が全て明記されている上、青森県北部も記載されているので、位置関係が把握しやすい。また、東京周辺・京都市周辺図や北海道南部の詳細な地図も掲載されているなどの特色がある。 	